## 事務事業マネジメントシート (兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 25 年 3 月 18 日作成

	事務事業名	市民への防災講習事業					所属部 所属課		消防本部 消防課		単位番号 課長名		13040 芦沢 俊一		
						実施計画事業	所属担	当	防災指導係		担当者	名	丸木 寛	包司	
	基本政策	基 本	Ι	情報と連携の都	市づくり		予算科	. H	計   名称     1   一般	款 09		目 01	<b>細目</b> 030	細々 03	
	政 策	計 06 安全な環境づくり				**-		□ 国の制度による義務的事業 □ 施設等維持管理事 □ 県の制度による義務的事業 □ 補助金交付事業							
	<b>施策</b>					- 事業区	<u> </u>	□ 市の制度による義務的事業 ☑ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金					Ę		
	事業期間		年度のみ 間限定複	▶ ☑ 単年度繰過	区 (開始年度	8 年度) 年度)	法令根	拠	消防法		1 ·				
事	事業の内容・・・				以降3年間の計画内		事業費0	り主な内	訳 ( 24年	度	央算見込	. )			
務	事業の内容・・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ①上級・普通救命講習 ②AEDを含めた心肺蘇生法の実技指導(救急講習会)						<u>項目</u> 11(01)	(細節)	金額(千	円)	項目(細節)		金額	金額(千円	
事業	③各種防災訓練	小小中思不二	C(AV) <del>X</del> (	以11等(狄心畔日2	5)		11(01)			913 179					
の概							11(04) 18(89)			315					
概要											į	H		1,40	
<b>1</b> (1)	現状把握(D 事務事業の目的	<b>O)</b> に指標	西元												
	活動			A add 313	-4-99 A		<u>(5</u>	活動指	<b>[標(事務事業</b>	の活動	量を表す	指標)對			
2	4年度活動実績	<ul><li>①上級</li><li>③防災</li></ul>	・・普通教 ・訓練等	(命講習 ②救急)	講習会		7 上級・	<b>名</b> 称 普通救命講	· 習開催	回数		単位	·		
2				(命講習 ②救急)	講習会	<b>  →</b>   <u> </u>	′ 救急請	する開催□ ■練等開催□	]数			回			
				対象にしている					∥練等開催□ <mark>≦標(対象の大</mark>		丰才圪堙	) 粉字け		<u>,                                      </u>	
	<b>万多(CV)于7</b> 万子	- 本161	מודי וריו כי	N MICO CO TO		· 兵/小 寸		/ <b>/</b> 13/11	名称		X 7 1日1示	/ 双丁 16	単位		
1	②③市民、市内各事	業所、	学校等					プロストリング 大手のな		六松			人 **r		
							1 2	市民・	ト事業所・学 各事業所・学	以寺 校等					
3	意図(この事務事	業により	り対象をと	どのような状態にし	ていくのか、どのよ	うに変えるのか)	(7	)成果指	「標(対象におり	ける意図	の達成度	を表す指	標)数字は	記入した	
	②身近な急病人やに							7 上級・	<b>名</b> 称 普通救命講	習開受	·諡者数		<b>単位</b> 人		
	俏火、避難訓練等に 欠災害等を防げるよ			-看いた行動がとれ	る。地震時等も落着	いた行動がとれ、	<b>→</b>   <u> </u>	/ 救急講	よ ■ は 事実施者	数			Į.		
<b>(4</b> )	上位目的(どのよ	こうな糸	吉果に結	び付けるのか)					練等美施者 <b>大果指標(結</b> 身		戊度を表で	打指標)	人 数字は記 <i>入</i>	入しなし	
1	②③ともに災害発生				急手当。処置の重要	「性も教えており救			<b>名称</b> 救命手当に	4 4 3			単位		
	率の向上や防火防災				2., -0., -0.		<b>⇒</b>   7	/ 心思・ / 仏宝=	救命手当に 身に落着いた	目身か 行動が	·狩てた ぶしわる		% %		
							1 11	- 火石の	T(C(谷/目 V ')こ		<b>ぺくない</b> る				
(0)	古光井 七年の	L# T#	** /*	23年度	24年度	25年度	」 26年		27年度		28年	<del></del>	最終	年度	
(2)	事業費・指標の		単位	23年度 (決算·実績)	24年度 (決算見込·実績)	25年度 (予算·目標)		度	27年度						
年	財	出金	千円				26年	度	27年度		28年		最終		
年間	財 国庫支出	出金	千円 千円 千円				26年	度	27年度		28年		最終		
年間トー	財 事源 業内 豊 豊 で も で り で り で り で り で り で り で り で り の り の り	出金	千円 千円 千円 千円	(決算·実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	26年	画・目標)	27年度 (計画・目標	<u>(</u> )	28年 (計画·E	目標)	最終		
年間トータ	国庫支   東京   東京   東京   地方   での   一般   事業費計	出金  金  債  世   (A)	千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 1,133 1,133	(決算見込·実績) 	(予算·目標) 1,407 1,407	26年	度 画·目標) 1,407 1,407	27年度 (計画·目標 1,·	407 407	28年 (計画·E	1,407 1,407	最終		
年間トータルコ	国庫支   東京   東京   東京   東京   東京   東京   東京   東京	出金 情 他 が源 (A) 事人数	千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 1,133 1,133 450	(決算見込·実績) 1,407 1,407 1,407 450	(予算·目標) 1,407 1,407 450	26年	画·目標) 1,407 1,407 1,407 450	27年度 (計画·目標	407 407 407 450	28年 (計画·E	1,407 1,407 1,407 450	最終		
年間トータルコス	国庫支   東京   東京   東京   地方   での   一般   事業費計	出金 情 他 源 (A) 事人数 時間	千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 円 一 一 一 一 一 一	(決算·実績) 1,133 1,133	(決算見込·実績) 	(予算·目標) 1,407 1,407	26年	度 画·目標) 1,407 1,407	27年度 (計画·目標 1,,	407 407	28年 (計画·E	1,407 1,407	最終		
年間トータルコ	国庫支   東京   東京   東京   東京   東京   東京   東京   東京	出金 情 他 源 (A) 事人数 時間	千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	(決算·実績)  1,133 1,133 450 330 1,307 2,440	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714	(予算・目標) 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714	26年(次年度計	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714	27年度 (計画·目標 1,, 1,, 1,, 2,,	407 407 407 450 330 307 714	28年 (計画·E	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714	最終		
年間トータルコス	国庫支   関	出金   1金   1個   1個   1個   1個   1個   10   10   10   10   10   10   10   10	千円 千円 千円 千円 千円 十円 十円 十円 千円	(決算·美績)  1,133 1,133 450 330 1,307 2,440 30.0 55,0	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307	(予算·目標)  1,407 1,407 450 330 1,307	26年(次年度計	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714	27年度 (計画·目標 1,· 1,· 1,· 2,·	407 407 407 450 330 307	28年 (計画·E	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307	最終		
年間トータルコス	国庫支   県支   県支   東   東   東   での   下の   下の   下の   下の   下の   下の   下の   下	出金   1金   他   (A)   (A)   (B)   アイウ	千円 千円 千円 千円 十円 十円 十円 一 十円 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	(決算·美績)  1,133 1,133 450 330 1,307 2,440 30 0	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714	(予算・目標) 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714	26年(次年度計	1,407 1,407 450 330 1,307	27年度 (計画·目標 1,, 1,, 1,, 2,,	407 407 450 330 307 714	28年 (計画·E	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714	最終		
年間トータルコス	国庫支   県支   県支   東   東   東   での   下の   下の   下の   下の   下の   下の   下の   下	出金   1金   1個   1個   1個   1個   1個   10   10   10   10   10   10   10   10	千円       千円       千円       千円       千円       千円       千円       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       2       3       4       5       6       7       8       8       9       1       1       1       1       1       1       1       2       2       2       3       4       4       5       6       7       8       8       8       8       8       8       8       8       8       8       8       8       8       8       8       8       8 </th <th>(決算·実績)  1,133 1,133 450 330 1,307 2,440 30.0 55.0</th> <th>1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 14.0 67.0</th> <th>1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0</th> <th>26年(次年度計</th> <th>1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0</th> <th>27年度 (計画·目標 1,, 1,, 2,,</th> <th>407 407 450 330 307 714 20.0</th> <th>28年 (計画·E</th> <th>1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0</th> <th>最終</th> <th></th>	(決算·実績)  1,133 1,133 450 330 1,307 2,440 30.0 55.0	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 14.0 67.0	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0	26年(次年度計	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0	27年度 (計画·目標 1,, 1,, 2,,	407 407 450 330 307 714 20.0	28年 (計画·E	1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0	最終		
年間トータルコス	事業 内 一般計 一般計 一般計 一般計 一般計 一般計 一般計 一般計	出金 (Ma) (A) (B) アイウアイウ	千円       千円       千円       千円       千円       時千円       千円       回回       人数数       数	(決算·実績)  1,133 1,133 450 330 1,307 2,440 30.0 55.0 55.0 160.0	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 67.0 80.0	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0	26年(次年度計	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0	27年度 (計画·目標 1, 1, 2,	407 407 450 330 307 714 20.0 70.0 80.0	28年 (計画·E	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 70.0 80.0	最終		
年間トータルコス	事業 財源 「中費」 「中費」 「本記 「本記」 「本記 「本記 「本記 「本記 「本記 「本記 「本記 「本記	出金 情 他 け源 (A) 事間 (B) アイウ アイ	千円       千円         千円       千円         千円       千円         時千円       1         千円       1         0       0	(決算·実績)  1,133 1,133 450 330 1,307 2,440 30.0 55.0 160.0 160.0 550.0	1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 14.0 67.0 80.0 81.0 81.0 202.0	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 210.0	26年(次年度計	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0	27年度 (計画·目標 1, 1, 2, 1 10 10	407 407 450 330 330 307 714 20.0 70.0 80.0	28年(計画・E	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 100.0 210.0	最終		
年間トータルコス	事業 内 一般計 一般計 一般計 一般計 一般計 一般計 一般計 一般計	出金 (Ma) (A) (B) アイウアイウ	千円       千円         千円       千円         千円       千円         6       千円         1       1         1       1         2       2         3       3         4       4         4       4         4       4         4       4         4       4         4       4         4       4         4       4         4       4         4       4         4       4         4       4         4       4         4       4         5       4         6       4         7       4         8       4         9       4         9       4         10       4         10       4         10       4         10       4         10       4         10       4         10       4         10       4         10       4         10       4	(決算·実績)  1,133 1,133 450 330 1,307 2,440 30.0 55.0 55.0 160.0	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 67.0 80.0	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0	26年(次年度計	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0	27年度 (計画·目標 1,· 1,· 2,· 10 10 2,5	407 407 450 330 307 714 20.0 70.0 80.0	28年(計画・E	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 70.0 80.0	最終		
年間トータルコス	事業 財源 「中費」 「中費」 「本記 「本記」 「本記 「本記 「本記 「本記 「本記 「本記 「本記 「本記	出金 (A) (A) (B) アイウアイウアイ	千円       千円       千円       千円       千円       時千円       回回       人       数数       人	(決算·美績)  1,133 1,133 450 330 1,307 2,440 30.0 55.0 160.0 160.0 550.0 3,000.0	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 14.0 67.0 80.0 81.0 202.0 2,405.0	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 210.0 2,500.0	26年(次年度計	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 210.0 2,500.0	27年度 (計画·目標 1,· 1,· 2,· 10 10 2,5	407 407 450 330 307 714 20.0 70.0 80.0 90.0 10.0	28年(計画・E	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 100.0 210.0 500.0	最終		
年間トータルコスト	国庫支   東東   東東   東東   東東   東東   大   大   東東   東東	出金 (A) (A) (B) アイウアイウアイ タックアイ タックアイ タックアイ タックアイ タックアイ タックアイ タックアイ カー・アイ カー・ア	千円       千円       千円       千円       千円       千月       時千月       千月       時千月       1       1       2       3       4       4       5       6       7       7       8       8       8       8       8       8       8       8       9       1       1       1       2       2       3       4       4       5       6       7       8       8       9       9       1       1       1       1       1       2       2       2       3       4       4       5       6       6       7       8       8       9       1       1       1       2       2       2       3	(決算・実績)  1,133 1,133 450 330 1,307 2,440 30.0 55.0 160.0 160.0 550.0 40,000.0	(決算見込・実績) 1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 14.0 67.0 80.0 81.0 202.0 2,405.0 8,732.0	(予算・目標)  1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 210.0 2,500.0 8,800.0	26年(次年度計	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 210.0 2,500.0 8,800.0	27年度 (計画·目標 1,· 1,· 2,· 1 1 1 2,· 2,5 8,8	407 407 450 330 307 714 20.0 70.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0	28年 (計画·E	1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 210.0 ,500.0 ,800.0	最終(トータルコン	スト· 目材 (( (	
年間トータルコスト	Table   Ta	出金 (A) (A) (B) アイウアイウアイ タックアイ タックアイ タックアイ タックアイ タックアイ タックアイ タックアイ カー・アイ カー・ア	千円       千円       千円       千円       千円       千月       時千月       千月       時千月       1       1       2       3       4       4       5       6       7       7       8       8       8       8       8       8       8       8       9       1       1       1       1       1       1       1       1       2       2       2       3       4       4       5       6       7       8       9       9       1       1       1       1       1       2       2       2       2       2       3       4       4       5       6       6       7       8       8       8	(決算・実績)  1,133 1,133 450 330 1,307 2,440 30.0 55.0 160.0 160.0 550.0 40,000.0	(決算見込・実績) 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 14.0 67.0 80.0 81.0 202.0 2,405.0 8,732.0	(予算・目標) 1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 210.0 2,500.0 8,800.0	教命講習	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 210.0 2,500.0 8,800.0	27年度 (計画·目標 1, 1, 1, 2, 1 1 2, 5 8,80	407 407 450 330 307 714 20.0 70.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0	28年 (計画·E	1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 210.0 ,500.0 ,800.0	最終(トータルコン	スト· 目材 (( (	
年間トータルコスト (3)	事業費 財源 国庫支払 地での での で	出金 金 (A) (A) (B) (B) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	千円円       千円円       千千円円       千千円円       千千円円       千千円円       千千円円       千千円円       千千円円       1回回回       2       3       4       4       5       6       7       6       7       7       8       8       8       9       9       10       10       10       10       10       10       10       10       11       12       12       13       14       15       16       17       17       18       18       19       10       10       10       10       11       12       12       13       14       15       16       17       18       18       19       10       10       10       10       10       10	(決算・実績)  1,133 1,133 450 330 1,307 2,440 30.0 55.0 55.0 160.0 160.0 40,000.0 対象者・社会状況 で開始されたの または5年前と比	(決算見込・実績) 1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 14.0 67.0 80.0 81.0 202.0 2,405.0 8,732.0	(予算・目標)  1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 210.0 2,500.0 8,800.0  R意見等 から(S49~)普通 施要綱、第1条~	教命講習第3条により	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 210.0 2,500.0 8,800.0	27年度 (計画・目標 1, 1, 1, 2, 1 1 1 2 2,5 8,8 1 と級教命講習	407 407 450 330 330 307 714 20.0 70.0 30.0 10.0 00.0 10.0 00.0	28年 (計画・E	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 210.0 ,500.0 ,800.0	消防本部	スト· 目標 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	
年間トータルコスト (3)	事業費 財源 国庫支払	出金 (A) (A) (B) (B) (D) (A) (A) (D) (	千円円 千千千円円 千千千円円 一千千円円 一十千円回回回 一人数数人人人%% 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	(決算・実績)  1,133 1,133 450 330 1,307 2,440 30.0 55.0 55.0 160.0 160.0 40,000.0 対象者・社会状況 で開始されたの または5年前と比	(決算見込・実績)  1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 14.0 67.0 80.0 81.0 81.0 202.0 2,405.0 8,732.0 2,前防本部発足当時当普及啓発活動実東日本大震災の発間は防災に対した。	(予算・目標)  1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 210.0 2,500.0 8,800.0  R意見等 から(S49~)普通 施要綱、第1条~ 災により、住民の関 訓練は増加するとと	変の 26年 (次年度計 (次年度計 (次年度計 (次年度計 (次年度計 (表記) (表記) (表記) (表記) (表記) (表記) (表記) (表記)	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 100.0 210.0 2,500.0 8,800.0	27年度 (計画・目標 1, 1, 1, 2, 1 2 2,55 8,80 上級救命講習 ている事業。 おり、訓練日種	407 407 450 330 330 307 714 20.0 70.0 30.0 00.0 00.0 00.0 00.0	28年 (計画・E 2 2 8	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 210.0 ,500.0 ,800.0	最終 (トータルコン 消防本部)	スト·目標 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	
年間トータルコスト (3)	事業費 財源 国庫支払	出金 (A) (A) (B) (B) (D) (A) (C) (B) (B) (C) (B) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C	千千千八時千千円四回回人数数人人人%% がなな はた、	(決算・実績)  1,133 1,133 450 330 1,307 2,440 30.0 55.0 55.0 160.0 160.0 160.0 40,000.0 対象者・社会状況で開始されたの または5年前と比 の予測は?	(決算見込・実績)  1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 14.0 67.0 80.0 81.0 81.0 202.0 2,405.0 8,732.0 2,105.0 8,732.0 2,105.0 8,732.0 2,105.0 8,732.0	(予算・目標)  1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 210.0 2,500.0 8,800.0  R意見等 から(S49~)普通 施要綱、第1条~ 災により、住民の関 訓練は増加するとと	変の 26年 (次年度計 (次年度計 (次年度計 (次年度計 (次年度計 (表記) (表記) (表記) (表記) (表記) (表記) (表記) (表記)	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 100.0 210.0 2,500.0 8,800.0	27年度 (計画・目標 1, 1, 1, 2, 1 2 2,55 8,80 上級救命講習 ている事業。 おり、訓練日種	407 407 450 330 330 307 714 20.0 70.0 30.0 00.0 00.0 00.0 00.0	28年 (計画・E 2 2 8	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 210.0 ,500.0 ,800.0	最終 (トータルコン 消防本部)	スト· 目標 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	
年間トータルコスト (3) ① (2) (3) (4)	事業費 財源 国庫支払	出金 (A) (A) (B) (B) (D) (C) (C) (C) (D) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	千千千千人時千千回回回人数数人人人%% 状な知られて、 はまた、「おいっと」では、 はない。 はな、 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はな	(決算・実績)  1,133 1,133 450 330 1,307 2,440 30.0 55.0 55.0 160.0 160.0 160.0 40,000.0 対象者・社会状況で開始されたの または5年前と比 の予測は?	(決算見込・実績)  1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 14.0 67.0 80.0 81.0 202.0 2,405.0 8,732.0 2,405.0 8,732.0 2,前防本部発圧動実東日本大震災の発間は防災に対した。 知識、技術の他にう	(予算・目標)  1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 210.0 2,500.0 8,800.0    記載	教命講習第3条により表別である。 (次年度計 ) (次年度計 ) (表記 ) (表	1,407	27年度 (計画・目標 1, 1, 1, 2, 1 1 2, 5 8,80 上級救命講習 いる事業。 おり、訓練日種	(H23~ (H23~	28年 (計画・E ・) 南ア をするのも に訓練資	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 80.0 100.0 210.0 5500.0 ,800.0	最終 (トータルコン 消防本部)	スト· 目標 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	
年間トータルコスト (3) ① (2) (3) (4)	事業費 財源 国庫支付	出金 (A) (A) (B) (B) (D) (C) (C) (C) (D) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	千千千千人時千千回回回人数数人人人%% 状な知られて、 はまた、「おいっと」では、 はない。 はな、 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はな	(決算・実績)  1,133 1,133 450 330 1,307 2,440 30.0 55.0 55.0 160.0 160.0 160.0 40,000.0 対象者・社会状況で開始されたの または5年前と比 の予測は?	(決算見込・実績)  1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 14.0 67.0 80.0 81.0 202.0 2,405.0 8,732.0 2,405.0 8,732.0 2,前防本部発活動実東日本大震災の発間は防災に対した。 知識、技術の他に 多い。 取り組みし	(予算・目標)  1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 210.0 2,500.0 8,800.0    記載	26年   26年   (次年度計   第3条により   方災意識は   思われる。   練希望も増	1,407	27年度 (計画・目標 1, 1, 1, 2, 1 2,5 8,8 と級教命講習 いる事業。 おり、訓練日種	(H23~ (H23~ (H23~	28年 (計画・E ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 80.0 100.0 210.0 5500.0 ,800.0	最終 (トータルコン 消防本部)	スト· 目標 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	
年間トータルコスト (3) (1) (2) (3) (4) (1)	事業費 財源 国庫支 (本の)	出金	千円円       千円円       千千円円       千千円円       千千円円       千千円円       10回回       10回回 <th>(決算・実績)  1,133 1,133 450 330 1,307 2,440 30.0 55.0 55.0 160.0 550.0 3,000.0 40,000.0 対象者・社会状況で開始されたの または5年前と比えの予測は? 事業対象者、議会・れているか?</th> <th>(決算見込・実績)  1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 14.0 67.0 80.0 81.0 202.0 2,405.0 8,732.0 2,405.0 8,732.0 2,前防本部発圧動実東日本大震災の発間は防災に対した。 知識、技術の他にう</th> <th>(予算・目標)  1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 210.0 2,500.0 8,800.0    記載</th> <th>  26年   26年   (次年度計   第3条により   方災意識は   思われる。   練希望も増</th> <th>  1,407</th> <th>27年度 (計画・目標 1, 1, 1, 2, 1 2,5 8,8 と級教命講習 いる事業。 おり、訓練日種</th> <th>(H23~ (H23~ (H23~</th> <th>28年 (計画・E ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</th> <th>1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 80.0 100.0 210.0 5500.0 ,800.0</th> <th>最終 (トータルコン 消防本部)</th> <th>スト·目標 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (</th>	(決算・実績)  1,133 1,133 450 330 1,307 2,440 30.0 55.0 55.0 160.0 550.0 3,000.0 40,000.0 対象者・社会状況で開始されたの または5年前と比えの予測は? 事業対象者、議会・れているか?	(決算見込・実績)  1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 14.0 67.0 80.0 81.0 202.0 2,405.0 8,732.0 2,405.0 8,732.0 2,前防本部発圧動実東日本大震災の発間は防災に対した。 知識、技術の他にう	(予算・目標)  1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 210.0 2,500.0 8,800.0    記載	26年   26年   (次年度計   第3条により   方災意識は   思われる。   練希望も増	1,407	27年度 (計画・目標 1, 1, 1, 2, 1 2,5 8,8 と級教命講習 いる事業。 おり、訓練日種	(H23~ (H23~ (H23~	28年 (計画・E ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 80.0 100.0 210.0 5500.0 ,800.0	最終 (トータルコン 消防本部)	スト·目標 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	
年間トータルコスト 3 1 2 3 4 1	事業費 財源 国庫支払 (A) + (B) 事業費 (A) + (B) 事 (B) 活動 指標	出金	千千円円 千千円円 千千円円 千千円円 千千円円 千千円円 千千円円 千千円	(決算・実績)  1,133 1,133 1,133 450 330 1,307 2,440 30.0 55.0 160.0 160.0 550.0 3,000.0 40,000.0 対象者・社会状況で開始されたの または5年前と比 の予測は? 事業対象者、議会 れているか?	(決算見込・実績)  1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 14.0 67.0 80.0 81.0 202.0 2,405.0 8,732.0 2,405.0 8,732.0 2,前防本部発活動実東日本大震災の発間は防災に対した。 知識、技術の他に 多い。 取り組みし	(予算・目標)  1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 70.0 80.0 100.0 100.0 210.0 2,500.0 8,800.0  R意見等 から(S49~)普通 変解、第1条~ 災により、住民の関調練は増加すると対資器材を用いた訓資器材を用いた訓	26年   26年   (次年度計   第3条により   方災意識は   思われる。   練希望も増	1,407	27年度 (計画・目標 1, 1, 1, 2, 1 2,5 8,8 と級教命講習 いる事業。 おり、訓練日種	(H23~ (H23~ (H23~	28年 (計画・E ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1,407 1,407 1,407 450 330 1,307 2,714 20.0 80.0 100.0 210.0 5500.0 ,800.0	最終 (トータルコン 消防本部)	スト· 目標 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	

	事務事業名	市民への防災講習事業	所属部	消防本部	所属課	消防詞	果		
2	<b>評価(Check1)担当者による事後評価</b> (複数年度事業は途中評価)								
	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の 施策に結びつき、貢献しているか?意図 が上位目的に結びついているか?								
的	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行 わなければならないのか? 民間やNPO、市民協働に移行すること は可能か?	□ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映  ☑ 妥当である ⇒【理由↓】  各自治体で訓練資器材の確保等、行政で無ければ出来ない事が多い。 行政(消防)は市民(国民)の生命、身体及び財産を保護し災害の被害を軽減するこが任務である為、現状が妥当考えます。							
		事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 □ 民間・NPO □ 市民協働 □ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 □ 適切である ⇒【理由↓】 東日本大震災の発災により防災意識が高まっております。住民の期待に応えられるように訓練資器材の充実等を図り継続する必要性がある。							
	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させる ことはできるか?できない場合は何が原 因でできないのか?								
有効性評価	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか?類似事務事業がある場合、その 事務事業との統合や連携を図ることはできるか?	□ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映     □ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】     □ 統一・連携ができない ⇒【理由↓】							
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性	▼ 類似事務事業がない   ▼ 影響なし							
効率性		:							
評価	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できない か?(事業のやり方の見直しによる業務 時間の削減や臨時職員対応や外部委割 による削減はできるか?)	<ul> <li>□ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映</li> <li>☑ 削減余地がない ⇒【理由↓】</li> <li>できない。</li> </ul>							
平性評	▼ 公平・公正である ⇒ 【理由↓】 <b>■務事業の内容が一部の受益者に偏っ</b> 全市民、市内事業所、学校等が対象であるため公平公正の事業である。  「こいないか?受益者負担を見直す必要								
	評価(Check2)担当課管理者								
	③ 効率性 ☑ 適切 □ 見直	(2) 1次評価の総括( 全種講習会・訓練に対し 一年間を通し、同じ時期 厳しい。東日本大震災の 一余地あり 一余地あり	市民の取り組み方が以 に要望が重なる傾向がる	前より、積極的になっ あり(防災の日近く)資	ている。 器材が足りなく多・				
4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)									
	) 今後の事務事業の方向性(Check 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) 休止(目的妥当性①、②、③の結果) 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結	1の結果から定める)・・・複数選択可 □ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) □ 成果向上(有効性④の結果) 果) □ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果	果) ☑ 公平性改善(公平 ☑ 現状維持(全評価	性⑨の結果)	礼 削減	1スト水準	<u></u>		
(2)改革改善案について 講習会の受講数を増やすことは、救命率向上の一助となること及び火災予防につながることから、今後も継続する必要がある。 また、再講習も必要であることから開催に向け検討すること。					成果維水持 (下)※廃止・休止		入不要		
财		き課題とその解決策 多くの市民に対する意識啓発が重要であった に向けた取り組みとなるよう努める必要があ			事務事業優先原 果優先度評価結		4		

コスト削減優先度評価結果

9